










万一の地震に備えましょう！

1 震度って何？

地震が起こったとき、ある場所での揺れの程度を表すのが震度で、気象庁が定めた震度階級によって震度を表しています。気象庁が発表する震度は、従来は気象庁の職員が体感じたゆれの強さや周囲の被害状況などから判定していましたが、最近では震度を観測するための「震度計」が設置されるようになり、この震度計の計測値（「計測震度」と言います。）をもとに震度を決めるようになっています。

■震度階級表（平成21年3月31日改定）

※以前は震度0から7までの8階級でしたが、平成8年10月からは震度6と5をそれぞれ6弱・6強、5弱・5強に分けて10階級に改訂されました。

震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況	木造建物(住宅)	
				耐震性が高い	耐震性が低い
3	 <p>屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じる人もいる。眠っている人の大半が、目を覚ます。</p>	<p>棚にある食器類が音を立てることがある。</p>	<p>電線が少し揺れる。</p>		
4	 <p>ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。</p>	<p>電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。</p>	<p>電線が大きく揺れる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。</p>		
5弱	 <p>大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。</p>	<p>電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。</p>	<p>まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがある。道路に被害が生じることがある。</p>		<p>壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。</p>
5強	 <p>大半の人が、物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。</p>	<p>棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが増える。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。</p>	<p>窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。</p>		<p>壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。</p>
6弱	 <p>立っていることが困難になる。</p>	<p>固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。</p>	<p>壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。</p>	<p>壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。</p>	<p>壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがある。瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。</p>
6強	 <p>立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。</p>	<p>固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。</p>	<p>壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。</p>	<p>壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。</p>	<p>壁などに大きなひび割れ・亀裂が入るものが増える。傾くものや、倒れるものが増える。</p>
7	 <p>立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。</p>	<p>固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。</p>	<p>壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。</p>	<p>壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。まれに傾くことがある。</p>	<p>傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。</p>